

～かなみっ子のすこやかな成長、質の高い乳幼児教育と保育を目指して～



つながる



函南町幼児教育センターだより 10号

令和7年7月発行

連絡先 学校教育課内
幼児教育センター 979-8121

接続研究推進会議

函南町接続研究推進会議は、「町内の幼稚園、保育園、こども園と函南町立の小・中学校の連携・協働により、子供に関わる大人が立場を越えて連携し、義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生までの2年間にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で、全ての子供に学びや生活の基盤を育むことを目指すために、カリキュラムの開発を目的として設置したものです(函南町接続研究推進会議要綱より)。

令和6年度の函南町接続研究推進会議は、

◇義務教育修了時の目指す姿の決定

「**思いや考えを表現する 夢に向かって挑戦する 人・もの・こととつながる**」

◇令和7年度の1年生のスタートにあたり、緩やかなスタートをするために「**なかよしタイム**」「**のび**

のびタイム」「**ぐんぐんタイム**」の導入

のお願いをしてきました。

令和7年度の函南町接続研究推進会議は、昨年に引き続き 寶來生志子先生(東海大学准教授)をアドバイザーとして迎え、萩野秀剛校長(函南東小)を委員長として13名の委員で構成されています。

令和7年度 接続研究推進会議メンバー ※敬称略

<学校関係>

萩野 秀剛	[委員長 函南東小校長]	植松 寛奈子	[副委員長 函南東小教頭]
若月 哲也	[函南中校長]	竹内 直子	[函南小教務]
小川 良子	[桑村小教務]		

<園関係>

加藤 弘子	[二葉こども園園長]	西澤 愛	[西部保育園園長]
田中千佳子	[さくら保育園園長]	土屋 恵美	[仁田マーガレット保育園園長]
須山 朋美	[春光幼稚園主任]	渡邊由香里	[間宮幼稚園主任]

<行政>

望月万起子	[学校教育課参事]	佐藤 晶子	[子育て支援課課長補佐]
-------	-----------	-------	--------------

<アドバイザー>

寶來生志子	[東海大学准教授]
-------	-----------

令和7年度の主な活動予定としては、

◇**架け橋期修了時の目指す子どもの姿の決定** ◇**函南版架け橋期のカリキュラムの作成**
です。函南町全体として目指す子どもの姿を共有するために、函南町版架け橋期のカリキュラムを作成し、その後、各小学校区ごと学校・園や地域の特性を生かしたカリキュラムを作成していく計画です。また、函南町版架け橋期のカリキュラムを作成することで、どの幼児教育施設に通っていても、目指す子どもの姿に向けた同じ活動や遊びを体験し就学するようになります。

第1回接続研究推進会議

第1回接続研究推進会議を、5月16日(金)に開催しました。会議の冒頭で久保田浩子教育長から、

◇「自分は幸せだ」と主観的に幸福感を感じる要因は、1位友達関係、2位教師のサポート、3位自己肯定感である。

◇園からの円滑な接続のために、「なかよしタイム」「のびのびタイム」「ぐんぐんタイム」を取り入れる。その中でも、スタート時には「なかよしタイム」を多く取り入れる。

というお話がありました。

話し合いでは各園・小学校が掲げる「1年生修了時の目指す姿」(小学校)、「5歳児修了時の目指す姿」(園)を基に、架け橋期修了時の目指す子どもの姿の決定に向け2つのグループに分かれ話し合いました。今回の話し合いには、大桑指導主事、平田指導主事も参加しました。Aグループは、中学校修了時の目指す姿を基に「表現」「挑戦」「つながる」を、Bグループでは3つの力「生活する力」「思いを表現する力」「学びに向かう力」をキーワードとして話し合いを進めました。



<Aグループ> [萩野・竹内・西澤・土屋・渡邊・望月・佐藤・平田]

- [表現] ・自分の考えを言える
・自分の言葉で表現できる
- [挑戦] ・前向きにチャレンジする
・土台(安心感)を基に目当てに向かって頑張る
- [つながる] ・友達と仲良くする
・友達も自分も大事にする
・一緒に活動する楽しさを知る



<Bグループ> [若月・植松・小川・加藤・田中・須山・大桑]

- [生活] ・状況に合わせた表現
・自分から対象に働きかける
- [表現] ・思いを相手に伝える
・自分の感情に気付いたり、発見する
- [学び] ・学ぶことの楽しさ
・困ったときにどうするかなど学び方についても身に付ける



A、Bグループとも活発な話し合いが行われ、グループごと意見をまとめてもらいましたが、架け橋期修了時の目指す子どもの姿の決定までには至りませんでした。A・Bグループのまとめを見ると、キーワードは違っていました。内容では共通する部分が多く見られます。そこで、両グループの意見を基に事務局で次のようにまとめてみました。

- 1 人とのつながりを楽しみ、主体的に関わる子ども**[生活する力]
 - ・周囲の人とのコミュニケーションを楽しみ、場面や状況に合わせた声かけをする。
 - ・自分も友達も大切に。友達を思いやる。
 - ・仲間とつながり協調しながら活動を進める。
- 2 豊かな感性を持ち、自ら表現する子ども**[思いを表現する力]
 - ・日々の生活の中で、小さな気づきや発見を大切に、自分の思いや考えを伸び伸びと表現する。
 - ・思いや考えを自分なりに表現することに喜びを感じる。
- 3 学ぶことの楽しさを知り、自分なりの学び方を見つける子ども**[学びに向かう力]
 - ・いろいろなことにチャレンジする。失敗しても次につなげる。
 - ・自分の良いところや得意なことを見つけ、自信をつけていく。
 - ・わくわくする気持ちで未知の世界を探索しようとする。

これはまだ案ですので、最終的には函南町接続研究推進会議での検討を経て決定していきます。